

あきたかたの世界

vol.06 安芸高田発 世界とつながる“高校生のための多文化共生リーダー養成講座”

市では高校生を対象に、「多文化共生リーダー養成講座」を開催しています。対面だけでなくオンラインでも実施。異文化への理解を深め、やさしい日本語の使い方などを学ぶことで、高校生が多文化共生のまちづくりの実践者となることを目指しています。講座では、市に2年～3年滞在後に帰国した外国の方たちにも協力してもらい、今住んでいる地域の様子などを中継で伝えてもらっています。いつでもどこでも海外とつながれる。毎月の交流を通して、生徒たちが世界と自分のつながりを実感する大切な時間となっています。

詳しくはブログで！
世界とつながった高校生がどんなことを学んでいるか、ブログにまとめました！
福岡奈織のブログ「安芸高田市の世界」
<https://note.com/akitakatabunka>

市内で見つけた
いろいろな文化を紹介します
地域おこし協力隊 福岡 奈織

鹿児島県在住、ウズベキスタン出身の技能実習生と。
 列に並ぶ、時間を守るなど、日本特有の「見えない文化」について話しました。

市内在住のタイ出身技能実習生と。
 タイ料理と一緒に食べたり、お互いの文化を紹介したりしました。

「あきたかたのせかい」展示を行っています
多文化共生にまつわる展示「あきたかたのせかい」を市内各地で開催しています。3月は多文化共生センターぎらりに展示しますので、ぜひご覧ください。

安芸高田市が目指す「多文化共生のまち」
国や地域、民族、人種、宗教、言葉、歴史観など、文化的背景が異なっても、一人一人が大切にされ、同じまちに住む一員として誰もが対等に一緒にまちづくりに参加できるまち。
関人権多文化共生推進課 人権多文化共生推進係 ☎お太助フォン 42-5630

警察 安芸高田警察署 ☎47-0110 安芸高田警察署メルマガ 身近な犯罪情報などをタイムリーに配信しています(右のQRコードから登録できます) 安芸高田市 危機管理課 ☎お太助フォン 42-5625

サービススタート! / 広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」

地域の犯罪、不審者情報の発信や、現在地情報送信機能など、防犯に役立つ機能を備えたスマートフォン用アプリの運用を開始しました。子どもの安全や、自分自身の危機回避のために、活用してください。

広島県警察ホームページ「オトモポリス」

〈マップ機能〉



犯罪や不審者情報の発生場所をマップに表示

〈事件情報通知〉



犯罪や不審者情報をスマートフォンに通知

〈位置情報送信〉



いざというときに、事前登録した家族などに位置情報を送信

アプリダウンロード
App Store 
Google Play 



毛利元就墓所



洞春寺跡(毛利元就墓所入口)

洞春寺の謎
洞春寺跡は毛利元就墓所の下段一帯とされていますが、郡山城の東山麓一帯を指す「下吉田」にあつたとする記録もあります。これが正しければ現在の伝承地とは矛盾するため、吉田内で移転した可能性もあります。その後、輝元による広島城築城に伴い洞春寺は広島へ移り(現在は山口市)、墓所は残されました。近世には長州藩より墓所への毛利家臣の代参や藩士の参拝が続けられました。

毛利元就と菩提寺洞春寺
元龜2(1571)年6月14日、元就は郡山城内にて75歳で没し、遺体が大通院に移されました。そして妙法寺(現竹原市西方寺)の嘯岳鼎虎を導師として招き、20日に初七日法要を行った後に火葬されます。24日には遺灰を埋め(現毛利元就墓所か)、葬儀が行われました。三回忌となる天正元(1573)年には、孫輝元により、法名「日頼洞春」から菩提寺洞春寺が建立され、嘯岳鼎虎が開山となりました。



江戸時代に描かれた毛利元就墓所の絵図(歴史民俗博物館蔵)



毛利元就墓前祭の様子(令和3年7月16日)

墓前祭はなぜ7月16日か?
明治初頭には改修や一族墓所の移転により、一帯が整備されました。明治8年には、太陽暦(新暦)に変換した7月16日が命日とされ、以後はこの日に墓前祭が開催されています。なお、西洋では1582年より太陽暦に新暦(グレゴリオ暦)が使われており、元就が没した1571年は、旧暦(ユリウス暦)でした。元就の命日(和暦)をこの旧暦の太陽暦に変換すると、7月6日となります。

450年間 元就が眠る地

今回は毛利氏の聖地としてあがめられ、今なお全国から訪れる人の絶えない毛利元就墓所です。現在は毎年墓前祭が行われる毛利元就墓所の歴史と謎を紹介いたします。

安芸高田 歴史紀行



毛利元就没後450年記念
シリーズ「元就の謎を解く」第5回
毛利元就墓所
《国史跡/吉田町吉田》
安芸高田市教育委員会 生涯学習課 主査 秋本 哲治